

発行 日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 http://yeg.jp/
編集 広報委員会
担当副会長 梶谷 俊介
委員長 梶谷 和枝
副委員長 鈴木 多
委員 南谷 信廣 守岡 正彦 神谷 成美 尾崎 康司
委員 垣本 佳之 川原 一郎
委員 森 房明 渥美 公太朗 服部 一則
専門委員 北野 健太郎 小川 貢 室賀 康史

平成17年3月号

SHOUSEI 翔生

vol.41

これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。



平成16年度
全国商工会議所
青年部連合会会長
小園 浩幸

平成16年度を振り返って

まずは、全国のYEGの皆様からいただきましたご理解、ご支援、ご指導に心から御礼を申し上げます。ひとつひとつが私にはありがたい励ましと戒めであり、力の源泉になりました。

私にとっては激動の日々であったこの一年、いやこの二年に近い月日は、得がたい経験の連続でありました。お陰様にて各地各界の多くの人々とお会いすることが出来、多くのYEGの仲間と語り合い、喜び合い、笑い合い、共に嬉しい涙も悲しい涙も流しました。今、「感謝」という言葉が素直に私の心の中に溢れております。

そして、頭をよぎるのは、亡き森田展且君のことでありました。平成14年度全国大会大阪大会を大会会長として大成功に導いた彼は、平成15年6月29日、その志を半ばにして、病のため急逝されました。難産の末の後任として不肖私が故森田氏の遺志を引き継ぐべく手を上げるに至った経緯がまるで昨日のことのように思い出されます。

この一年、皆様から激励や指導をいただきながら、力不足ながら私なりに精一杯やって参ったつもりです。それもこれも“夢を持ち続けられ、必ずや成し遂げることが出来る”という故森田氏の言葉が常に胸にあったからでございます。まがり

なりにとも任期を無事終えることができたことを、故森田君に感謝を込めて報告をしたいと思えます。

昨年度は何かと暗い話題の多い年でありました。しかし、商青連は明るさを失うことなく、いや、よりいっそうの明るさを心がけ、地域経済の活性化に向けた全国各地YEG単会の活動をバックアップすべく、また、会員の皆様の個々のビジ



ネスのサポートのために、そして「美しい日本」の創造をめざし、精一杯の活動を続けて参ったつもりでございます。とは言え、まだまだ時間も対話も足りない状況のままで、新年度を迎えてしまったというのが偽らざる実感でございます。しかしながら、これからのYEGの進むべき方向性や商青連の課題といったものを明らかにすることはできたのではと思えます。

「全国大会」「全国会長研修会」の開催時期も含めたその有り様の見直し。導入したWEB上のグループウェアである「エンジェルタッチ」と「縁満開YEGビジネスサイト」をもっと分かりやすく使いやすように。「ビジネスプランコンテスト」をもっと多くの会員が興味を持ち、自社のビジネスの活性化に活かしてもらえよう。 「YEG大賞」を単なる表彰事業から事業企画・運営のノウハウ共有の場にするための「YEG事業データベース」の拡充を。 全国組織だからこそその研修事業を。「コミュニケーションビジネス」の振興を。 などなど枚挙に暇がありません。

全国41単会のYEGの皆様には、引き続き、荒濱健太郎会長率いる商青連の各種事業に対するご参画並びにご理解とご活用をどうぞよろしくお願い申し上げます。私もこれから一年間、直前としての務めがございます。荒濱健太郎会長の補佐役として、全国のYEGの皆様との意見交換が出来ることを期待いたしております。

最後に、商青連執行部役員の皆様、各委員長をはじめとする公募委員を含めた委員会の皆様、そして日本商工会議所の担当職員の皆様、最後まで無理なお願いを聞き入れてくださいます。ありがとうございました。皆様と、そして身内にはなりませんが、高石商工会議所及び高石YEGの皆様、本当にありがとうございました。

日本商工会議所
全国商工会議所青年部連合会

会長 小園 浩幸

平成16年度 監事講評

愛知大会に思うこと

平成16年度商青連の役員の皆様一年間ご苦労様でした。また、次年度も商青連役員を務められる方はさらに一年間よろしくお願いたします。毎年の事ながら春の会長会議から始まりブロック大会、全国大会そして会長研修会。その間委員会主管の研修会、さらに各委員会活動と、事業をやり遂げるにもかなりのパワーを使われたと思います。まして、17年度全国大会が7月に開催されることにより、例年とは違ったパターンで事業展開される事になり、今まで以上のパワーを持ってしても大変な事だと感じています。

3月25日から愛・地球博が開催されます。7月の暑い最中、豊田スタジアム・万博会場等で全国大会を開催するのですから、主催者、主管者共に大変な事だと推察できます。主催者は17年度としてどんな大会をしたいのか。何を大会の主眼としているのか。会長自ら思いを全国3万人に訴えると共に、主管者はその思いをどう具現化するのかもっと深く考えなければならぬと思います。それは「議論」を重ねお互いが共通の立場で「絵」が書ける。それが本当ではないでしょうか。4月初旬から登録を開始すると聞きました。大会の中身が解らないのは私だけでしょうか。大会PR歌も大事かもしれませんが、今一度、「誰が誰のために何をすべきか」良く考え、「感謝」と「情熱」と「責任」をもって大会成功に向けて頑張ってください。大会の成功は当たり前です。7月開催の愛知大会でなければ出来ないことを、参加者の皆さんに与える。それが使命です。

この大会が今後の商青連の将来につながると感じているので、あえて苦言を申します。

17年度商青連の皆様、全国大会愛知大会の皆様、そして全国3万人のYEGの皆さん「議論」を忘れないように、「議論」すれば知恵が湧きます。勉強します。友情が深まります。そして必ずビジネスチャンスに繋がります。美しい日本の創造に向かって頑張りましょう。

本当に一年間（通算4年間）

ありがとうございました。

日本商工会議所 全国商工会議所
青年部連合会 平成16年度監事

清水雅文



意識を持って臨む

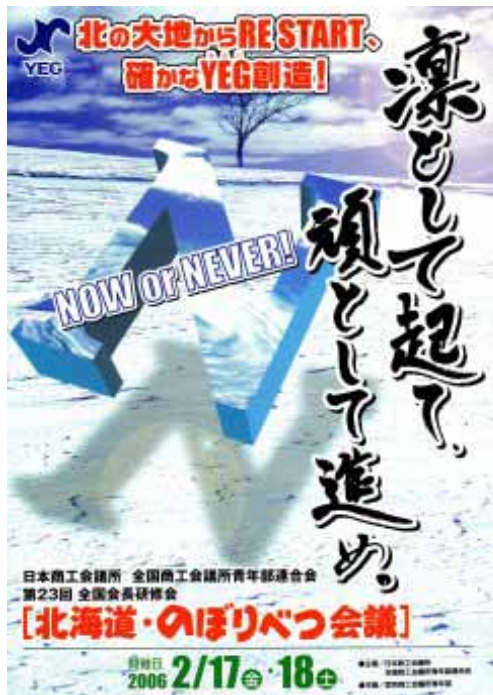
年に1、2度の集まりで全国の意思を集約し、総意で何かを決めることに無理があることを2月の岡山の地での総会で強く感じた。方法論は今後の検討課題だが、一堂に会しての「総意」がいいとは限らない。役員会や総会に議案上程され、質問も無く満場一致で承認。しかし、各事業への参加を見ると、無関心だから意見がなかったということが分かる。

毎年役員が変わるから新しいことに挑戦できる。それは大いに価値あるが、貴重な予算と時間を費やす事業が当事者の自己満足では困る。YEGの事業は“やる”ことが前提であり、その上で目的・対象者・予算・方法について質問や意見を交わすことが役員会や総会の意義と価値であり、「やる」か「やらないか」ではなく、その内容を納得したか否かを問われているという意識を両者が持つことが必要ではないか。また、事業実施後に、学んだことや今後についての考えを客観的に整理し、その内容を役員会で他のメンバーと議論することに時間をかけられたら、それぞれの事業価値を全体で共有することが可能となり、充実した役員会になると思う。「言うは易し、行方は難し」だが、役員会は覚悟を持った方々の集まりであり、その気になれば何事も成しえるはず。

総会や役員会の見直しは、会議の方法論だけではなく、YEGの存在意義と価値の明確化につながる重要なもの。活発な意見交換を次年度に期待し、皆様に今年のお礼を申し上げ、監事講評とさせていただきます。感謝！

日本商工会議所 全国商工会議所
青年部連合会 平成16年度監事

後藤健市



平成 16 年度 商青連 一年間 ありがとうございます。



7月は全国大会です。



伸びゆく大地 伸びゆく大地 日本の～

全国大会スタッフミーティング



The Enkai



紳士淑女、見つけ



あ～大変だったけど、楽しかった

こちらも男らしい???



この一年本当にお疲れ様でした

Atuki Omoi



大熱唱!!!



輪になって歌おっ



ハッピーバースデー



汗だくで取材



男らしい!!!



やっぱり宴会!!



意外とお似合い! 麦わら帽子

2 Shot



愛は



を超えて?!



愛は年齢を超えて



壮観な西大寺裸祭り



ゴキゲン!!



可愛い笑顔



大スナップ!! 四国大会に ヨン様現わる?!



いろんな所を見て歩きました

震災奮闘記

非常事態！

YEGになんがでできるのか

「昨年日本中で大きな災害が発生しました。こんなときこそYEGの出番なのではないか!?そんな中で「動かなければ」と感じ、そして動いた会員の手記。あなたは何をさせてもらうことができたのでしょうか・・・」



このたびの10・23新潟中越大地震に際しまして、全国の青年部の皆様多大なる救援物資と、多くの義援金本当にありがとうございます。被災地の代表として感謝申し上げます。

昨年は千億円単位の被害の災害が全国各地で起こりました。新潟県商工会議所青年部も7・13、三条大水害のときに炊き出しをして、まさか当日町YEGが被災地になるとは想像すらしておりませんでした。

当日真っ先に連絡を頂いたのは新潟県内の単会会長、北陸信越ブロックの会長、商青連の小園会長でした。幸いなことに、私の会社だけが次の日の朝には、電気が通り、夕方にはガスが使えるようになりました。23、24日は余震が止まらず、自宅の駐車場の車の中で寝ま

した。当日死者も出たのですが幸い私の会社も自宅もそれほどの被害に遭わなかったです。水道が使えるようになったのは1週間後でした。

地震当日から数千人規模で避難が始まりました。仕事が飲食業のため、私に出来ることは炊き出しと思い、翌日のお昼から始めました。そのことを会員に伝えたところ、23日には新発田YEGが急遽イベントを中止し、そこで出すことになっていた雑煮を1000食炊き出しに提供していただきました。そのことがきっかけで全国に伝えたところエンゼルタッチで伝わり、北陸信越ブロック代表理事を始めとして、県内各単会など多くの皆さんが十日町に来ていただき、約1万食の炊き出しをYEGで行いまし

新潟県中越地震での活躍を取り上げた地元紙より小林君を紹介します。

新潟県中越地震で店舗が被災し、一時休業を余儀なくされた十日町市のそば屋の社長が、避難所で被災者にそばの炊き出しを続けている。これまでに提供したそばやうどんは約1万2000食。熱い一杯は避難住民の心と体を温めている。名物へぎそば処「小嶋屋」の2代目社長、小林均さん(48)。10月23日の地震で十日町市内は断水。小嶋屋も食器は半数が割れ、2階の宴会場に通じる階段の壁が崩れ落ちるなどの被害を受け、休業に追い込まれた。小林さんは翌日、余ったそばを社員と避難所に運び、被災者に約1000食分を振る舞った。その後も店の再開を後回しにして活動。体育館の駐車場でゆがいたそばやうどんを自ら被災者まで運び「一緒に頑張りましょう」と励まし続けた。県商工会議所青年部連合会の会長を務めている縁で、全国各地の商工会議所から義援金や食材が寄せられるなど支援の輪は広がり、今では約10のグループに分かれて小千谷市などで炊き出しをしている。小林さんは阪神大震災でも被災地に駆け付け、炊き出しをした。「本当においしい。ありがとう」と涙する住民の姿に感動し、今回の地震でも「とにかく炊き出しを」という思いに突き動かされたという。店は10月27日から営業を再開したが客足は戻らず、売り上げは年間約2000万円も減る見込みだが「わたしができることは温かい食事を提供すること」と小林さん。「みんなで一緒に復興を」の思いを一杯のそばに込め、炊き出しを続ける。

上の写真は避難所で被災者と話す小林均君



多くのYEGメンバーが駆けつけてくれました



た。小園会長もお越しになられた。何でも言って下さいという事で励まされました。

今回の地震で多くのものを失いましたが、得るものも沢山ありました。支援でYEGの素早い対応や行動力に感心させられ

ました。地震の復興はこれからですし、今なお仮設住宅に住んでいらっしゃる方が3000人ほどいます。雪が消える5月頃には新たな問題が生じてきます。まずは自分が今何が出来るかを考え行動すれば地域が変わり、日本も良い方向へ行くこと確信しております。変化を起こすのもいつの時代も我々青年です。

困難な問題も些細な問題も我々青年経済人であるYEGメンバーが先頭になっていけばこの震災で失った物以上に成果が得られると確信しています。

今度いつどこで災害が起きるかわかりませんが、でも今回の教訓を生かし行動して行きましよう。これからもご支援ご協力よろしく申し上げます。

16年度新潟県連会長

17年度北陸信越ブロック代表理事
 予定者 小林 均

青年部と商工会議所で行った義援金(3/17現在)

商青連

平成16年7月新潟・福島豪雨

192単会 7道府県連 1ブロック連・・・2,772,593円

平成16年7月福井豪雨

201単会 7道府県連 2ブロック連・・・3,044,156円

日商

平成16年7月新潟・福島豪雨

平成16年7月福井豪雨、災害義援金

337商工会議所・・・25,100,000円

義援金送付先：福井商工会議所・三条商工会議所

平成16年新潟県中越地震

平成16年台風23号災害義援金

377商工会議所・・・69,880,000円

義援金送付先：長岡商工会議所 小千谷商工会議所
 十日町商工会議所 宮津商工会議所 西脇商工会議所
 洲本商工会議所 豊岡商工会議所



全国のYEGの皆様、岡山のCONFERENCEへ多数参加頂き、感謝と御礼を申し上げます。大会終了後、数多くの方々になぎらいの言葉や、温かいメッセージを頂き、誠にありがとうございました。

研修会を振り返って副主管である県連内12単会と共におもてなしの心で全日程を終了できた事が最も印象に残りました。

当初は、12単会の中の温度差や、研修会のとらえ方などけっして一枚岩ではありませんでした。しかし、それを一枚岩にしたのは、同じ熱い思いや夢を持った同じYEGの会員であることと県下13単会で作り上げるんだという連帯感だと思います。その中で、吉原大会会長の熱い思いとそれに答えた三宅県連会長のすばらしさ、これが皆で作る岡山CONFERENCEになったんだと思います。

特に三宅県連会長には、2日も岡山に泊まって頂き、朝早くから夜遅くまで私が引っ張り回し、本当にすみませんでした。

すばらしい演出で、前泊者交流会を盛り上げてくれた総社YEG、ふるまいコーナーで寒い中作って頂いた新見YEG、児島YEG、備前YEG、懇親会で酒のふるまい担当の高梁YEG、YEG大賞の玉野YEG、物産展担当の笠岡YEG、事務局研修会を担当して頂いた井原YEG、道府県連サミットを担当した玉島YEG、津山YEG、倉敷へのエクスカッション担当の倉敷YEG、会長研修会最後のフィナーレを飾った西大寺会陽担当の西大寺YEG・・・、なんとか成功させようという皆様の熱い気持ちから県連が一つになっておもてなしの心で運営できた事、これが岡山CONFERENCEの一番の宝だと思います。それに春の会長会議でのPRから、最終日まで岡山YEGオリジナルで運営した事も大きな宝ではないでしょうか。このことは、岡山のメンバーにとって非常にいい経験になったと思います。

PRの方法、アンケート調査、会長相談室の開設、代読なしの開会式、講演会、事務局研修会、道府県連サミット、テーマ別研修会、着席の大懇親会、雨の中のブリッジウォーク、等々全員が輝いていました。

やればできる、動かなければ事は始まらない。色々勉強をさせて頂き、岡山YEGの財産になりました。

次年度は、登別です。岡山の宝物の一杯詰まったボールを受け取って頂きました。登別YEGの皆様、いろいろたいへんだとは思いますが来年の大会成功を楽しみにしております。

ただ記録に残る大会よりも、記憶に残る大会を!!

最後に、皆様には精一杯のおもてなしの気持ちで接しましたが、行き届かなかった事やご迷惑をおかけした事お詫びを重ねて申し上げます。本当にありがとうございました。

大会実行委員長 藤井 一也



2月18日(金)、凜とした寒気の中、第22回全国会長研修会、岡山CONFERENCEが始まった。

エントランスや広場につきつぎとブースが出来上がっていく、副主管の皆様が知恵を傾注したおもてなし、たこめし、いのししラーメン、かきめし等どれもおいしそうだ地酒、寿司、備前焼等地元の品を販売する岡山観光物産展もある。各委員会の新旧役員会にひきつづき開会式があり開会宣言、会頭VTR、次年度全国大会、全国会長研修会PRにつづいて全体研修会の始まりです。

本年度会長スピーチ、次年度会長所信スピーチ、商青連オリエンテーションそして基調講演として、志(こころざし)という名の翼を広げての演題で、ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO福武総一郎様の講演がありました。その後、会場を分けてテーマ別に事務局研修会、道府県連サミット、テーマ(1)組織構築・組織の活性化、テーマ(2)単会運営・会員増強、テーマ(3)組織運営の強化・魅力ある青年部、テーマ(4)長期ビジョン策定・YEGと地域、テーマ(5)YEGの意義・地域の基幹単会の役割等のテーマについて熱くグループディスカッションをされました。

研修の後は大懇親会です。「岡山駅西口地区開発事業の視察」として岡山メンバー100名による「光のナビゲート」を雨のそぼ降る中ではありましたが、全国会長研修会会場「マカリアフォーラム」より大懇親会場である「ホテルグランピア」まで、まだ一般開放されていない新跨線橋をお渡りいただきそれにより東西地区が結ばれ、新しい岡山市へ向けて大きく変貌しつつある駅周辺を体感していただきました。

大懇親会は3箇所の会場にてPRタイム、アカペラLIVE、BGRライブ、バンド等にて多に盛り上がりました。

19日(土)最終日は研修会総括にてYEG大賞発表、大賞プレゼンテーション、ビジネスプランコンテスト発表、日商事務局オリエンテーションの発表があり、YEG大賞は九州大分YEGの府内戦紙(ふなばいばっちゃん)に決まりました。

会員総会そして閉会式その後のエールの交換は感動も最高潮、記念写真を撮り、昼からは次年度各委員会、ブロック大会開催地連絡会議、全国大会開催地連絡会議そしてエクスカッションが倉敷美観地区・チボリ公園、西大寺会陽(えよう)はだか祭り)へと続き25時をもって終了となりました。

Method

第2回YEGビジネスプランコンテストの報告

研修委員会 池戸 一成

本年1月24日、日本商工会議所特別会議室にて、第2回YEGビジネスプランコンテストの表彰式および受賞ビジネスプランの公開プレゼンテーションが行われました。

この事業は、商青連（日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会の略）が主催し、中小企業庁の後援や、野村證券㈱、日本アジア投資㈱、㈱日経BPなどの協賛・協力のもと開催されました。開催期間は、8月2日からのビジネスプラン募集から表彰式までの約6ヶ月間で、途中1次審査、各種セミナー・フィードバック、最終審査などが行われ、単なる順位を決めるコンテストではなく、応募者の起業や事業化を促進するためのものでした。（詳細は後述）

現在、日本経済は大企業を中心とした経済回復が進む中、いまだ中小規模企業はその回復が遅れています。日本経済の大半は中小規模企業により構成されており、その大部分は地域産業といわれています。「地域の元気、そしてこの国の元気に責任ある私たちYEG」として、地域経済の復興に結びつく効果的な施策を行っていくことが使命のひとつと考えました。そして、日本商工会議所および各地商工会議所が、地域事業所の新たな事業展開を支援するため開催している「第二創業コース」とリンクさせる形でビジネスプランコンテストを開催し、各地に埋もれるビジネスプランを発掘・支援することにより、それらの前向きな事業所に「地域経済への刺激の芽」となっていくことを目指しました。

今回応募されたビジネスプランは全国から27件でしたが、その中では地域密着型や地域特性を生かしたものが大半で、他の地域でも条件があれば同一のビジネスが成り立つ可能性があるような、コミュニティビジネスが多く見受けられました。そして、世の中のニーズを満たそうとする「志」は社会的にも求められるものが多く、事業の理念・意義はどれもうなずけるものばかりでした。これらの事業が実現化すれば、地域の社会・経済の活性化へ寄与できるものとなるでしょう。しかしながら、ビジネスとして成り立つための根拠については不明確なものが多く、事業として成り立つビジネスプランとしての完成度が高いものから審査を通過していきました。逆に考えると、もっと調査・分析し、具体的なアクションプランまで落とし込みができれば、地域に貢献するビジネスになりうるプランが多く存在するというのではないのでしょうか。

今回のビジネスプラン受賞者によると、このコンテストのプログラムにより、1次審査通過後、各自がこれまで受けたことのないような専門家からの指導を受け、最終審査までの間に各ビジネスプランが、事業化へ向けての具体的に明確化されたものにブラッシュアップされ、それぞれの事業所の未来像が鮮明に見えてきたという声を聞きます。今後も、このような機会へのチャレンジを通じて、地域を支える気概を持つ事業者たちの事業力が向上され、地域社会への活性化に結びついていくことに期待をしたいと思います。

【第2回YEGビジネスプランコンテストのプログラム】

応募に先駆けたビジネスプラン作成研修

（YEGヤングリーダー研修会）

1次審査（書類審査）

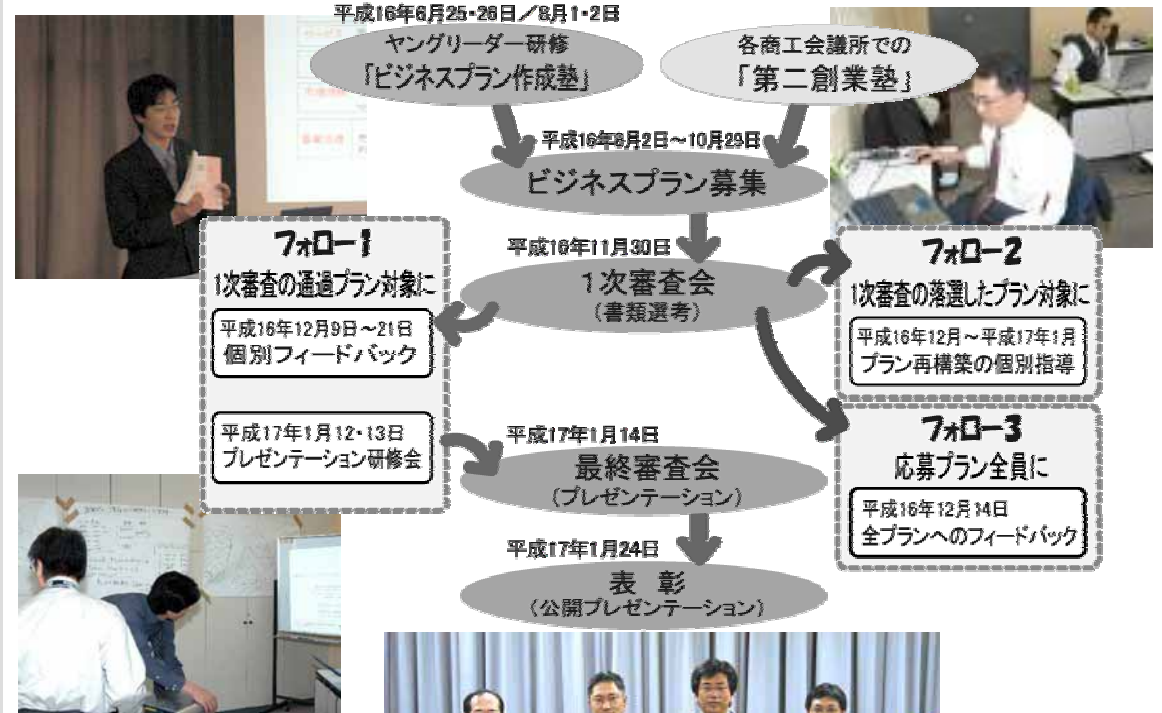
応募された全プランへの評価・コメントのフィードバック

個別フィードバック（対象：1次審査通過者・希望者）

プレゼンテーション研修会（対象：1次審査通過者）

最終審査（プレゼンテーション審査）

表彰及び公開プレゼンテーション



ビジネス
プラン
コンテスト





Winner

【はじめに…】商青連の大切な役割のひとつは、各地YEGの活動をサポートしていく事だと考えます。各地のYEG活動が、より活性化される為のお手伝いが、なにか出来れば…と考えました。この「YEG大賞」こそが、まさにその為の事業のひとつです。コンテストという形式はとっていますが、事業そのものに優劣をつける事が目的ではなく、「あなたの単会で開催されている素晴らしい事業を、全国の仲間に教えてあげてください。そして、全国の仲間の素晴らしい事業を、もっともっと知って下さい。」というのが、この事業の目的です。全国の仲間といっしょに、明日のYEG活動を考えていきたい…そんな思いが、この事業にはいっぱい詰まっています。



大賞 YEG

【応募登録】本年度「YEG大賞」への応募と登録は、すべて、新設された「YEG事業データベース」を利用して行われました。”YEG大賞への応募＝事業データベースの充実”というスタイルです。応募締切は、平成16年11月30日(火)24:00まで…お陰様で、全国の皆様方のご協力により、109事業もの、ご応募を頂く事が出来ました。応募頂いた事業は、どれもこれも、地域の特質を活かした、すばらしい事業ばかりでした。



「第4回 YEG大賞」受賞青年部一覧

受賞名	都道府県	青年部(市)	事業名	事業概要
グランプリ	大分	大分	府内戦紙(ふないばっちゃん)	今回で20回目！全国大会を契機に始まった地域起こしイベント
YEG大賞	福島	福島	雪うさぎ弁当コンテスト	福島のブランドイメージの確立！こころ暖まる、お弁当は…
YEG大賞	埼玉	所沢	CLUB - SEE オリジナルエコバッグ関連事業	ゴミ減量から始まる商店街の活性化及び社会的コストの回避
YEG大賞	富山	魚津	魚津YEG創立30周年記念 日韓交流促進事業	Advance and Exchange - 前進と交流 -
YEG大賞	島根	平田	H16年度 木綿街道イベント	平田市内に現存する妻入り土蔵作りの民家の保存と活用
小園会長特別賞	三重	伊勢	帯広・伊勢姉妹 YEG 連携事業「Oiy みそプロジェクト」	十勝の雄大な自然と伊勢の歴史と文化の融合
大原特別審査委員賞	愛媛	大洲	えひめ YOSAKOI 祭り「伊予さ来い！」	「祭りが人を変え 人が街を革える」
敢闘賞	北海道	登別	2004年鬼まつり	勇鬼！元鬼！で登別を活鬼づけよう！
敢闘賞	茨城	ひたちなか	AJIGAURA BIG WAVE 2004	地元資源である海を利用したの活性化イベント
敢闘賞	愛知	豊橋	第9回炎の祭典～昼の部	豊橋発祥の「ええじゃないか」を新たな形で復活
敢闘賞	滋賀	彦根	第5回ハイウェイビジネス交流会	事例に学ぶ、これからの地域商工業の鍵(Key)
敢闘賞	岡山	総社	吉備線開業100周年記念事業	まんが日本昔ばなしの常田富士男が語る！吉備路昔ばなし列車

【1次審査会】本年度は、なにかと議論の多かった審査方法を、今年のYEG大賞は、あなたが審査員です」を合言葉に、全国400単会の会長様と商青連役員による、直接投票方式とし、平成16年12月10日(金)より平成17年1月14日(金)の期間に、パソコン上より、YEG事業データベース閲覧方式により、選考・投票を行っていただきました。各ブロック単位で各ブロック内上位1事業×9ブロック、左記を除き全国集計で上位3事業計12事業を二次審査へのノミネート事業として選定していただきました。

【2次審査会】平成17年2月17日(木)に、岡山県ママカリフォーラム(イベントホール)において、プレゼンテーション方式による、公開審査を行いました。特別審査員には、大原謙一郎氏(大原美術館理事長・倉敷商工会議所会頭)もお招きし、1次審査通過12事業につき1事業約8分間のプレゼンテーションを行い簡単な質疑・講評を受けていただきました。採点は点数方式を採用し、最終選考は大原特別審査員・小園会長の協議により行われました。審査員の皆様の想像以上にクオリティーの高いプレゼンテーションを各単会ともご準備いただき、会場は、各単会の熱気につつまれ、“これぞYEGの本来の姿”とも言ふべき、熱戦が繰り広げられました。昨年のプレゼンにも参加いたしましたが、毎年レベルが非常に上がっていている事を感じます。



【審査発表及び表彰】平成17年2月19日(土) 会長研修会の総括の中で、審査結果の発表各賞の発表及び表彰を行いました。全受賞者が登壇の上、表彰式が執り行われましたが、各地の皆様の堂々とした笑顔が印象的でした。また本年度は、グランプリ事業だけですが、全国400単会の皆様にもプレゼンをご覧いただける時間を取って頂きました。ご自分の単会の事業と感情を重ねてご覧頂いている会長様もお見えになり、非常に有効な時間を共有出来たと感じました。

「第4回YEG大賞」総務委員長：森 通人

HPおもしろグランプリ 投票結果一覧表

地域と選出者	最優秀賞		優秀賞	特別賞
	単会名	獲得ポイント	結果	推薦の言葉(参考まで)
北海道 鈴木	帯 広	2		まじめで紳士的
	留 萌			重くジれるが、内容は良い
	砂 川	1		ラジオ風景が覗ける
東 北 守岡	二本松	1		「二本松の菊人形」キャラ
	米 沢	4		"上杉小町"可愛い!
北信越 神谷	氷 見	2		松原氏毎日「得なる一言」
関東1 垣本	岩 槻	4		よく出来ている。どこかで見た気が...
	上 尾	2		よく出来ています。
	富士吉田	6		独自の YEG グッズの製作
関東2 小川	柏	1		ロコモールという商店街
東 海 室賀	豊 田	1		会員紹介が良い、熱がある
	伊 勢	7		ショッピングモール
近畿1 尾崎	彦 根			事業報告を原則毎月更新
	敦 賀	5		族をモチーフにして...
	守口門真	2		毎月メンバーのコメント
近畿2 小川	京 都	2		情報量が豊富で洗練され訪問数多
中 国 森	松 江	3		貴谷会長の「よっ!パン YEG 日記」
	山 口			「日本のクリスマスは山口から」
四 国 守岡	安 芸			「四国で一番小さな青年部」
	松 山			さすがかな
	宇和島	1		河野会長挨拶が面白く話題豊富
九 州 服部	小 林			写真掲載も豊富でバランスがよい。
	久留米			地域特性を生かし、事業タイムリー
	島 原	1		会員モール、写真掲載更新多い

Winner



各単会のホームページを

ホームページ大賞

本誌記者が全数チェック!!

今年度、翔生では二号にわり面白そうなホームページを紹介してきました。最終号では全国の単会をくまなく覗いて、広報委員全員で最優秀を発掘。各ブロック別に1~3単会を担当者が想いを込めて選出(別表)。それぞれの基準の違いもあるが、出揃った24単会はどれも力作。是非みなさんもこれらの単会を覗きに行き自分の単会に活かしてください。

今回勝手に審査するに当たっての選出の基準は **更新が多くて目新しいか? 会員の情報が充実しているか? 青年部の活動がわかりやすいか? 交流が盛んに行われているか? 何かを起こしている風を感じるか?**

そんな中で今回最優秀賞を獲得したのは東海ブロック三重県連の伊勢 YEG。伊勢といえばお伊勢さん。そして本年帯広 YEG と合同事業として「O1Y 味噌」を完売された単会。そういった行動力がホームページに現れたということ。記者の提案理由に「ご利益がありそうでした。お伊勢産という会員企業のショッピングモールや姉妹 YEG やリンク集が良いのと表紙がとってもすっきりしているのがよいです」。確かにすっきりして、どの単会でもがんばれば作れそうな HP だ。

優秀賞は山梨県連富士吉田 YEG と福井県連敦賀 YEG。それぞれ『とてもすっきり見やすくまとまっている、開発商品・イベントの紹介のデザインが良い』『とにかくにもトップページのインパクトが全国一番、ただ「ハコスカ」と単会の関係が知りたい』という担当の記者の弁。

そして特別枠に埼玉県連岩槻 YEG と山形県連米沢 YEG が入賞。そのほか賞には漏れたがいずれの単会もさすがに捨てがたい力作ぞろい。本格派あり、技巧派あり、非常に参考になること請け合いである。いづれにしても今回の「勝手にコンクール」では勝手に各単会を覗かせて頂き、勝手にランク付けして、勝手に公表させていただいた。それによって各地 YEG で単会 HP を見直すきっかけになってもらえば広報委員会としても商青連にしてほしいことである、ということに免じてどうかお許しいただきたい。そしてできるなら毎年恒例行事として最優秀を目指していただければ幸いです(記事:小川)

今年度十一月より二月まで、四ヶ月間メルマガとホームページでご紹介してまいりました『YEGシロウト川柳』は、いかがだったでしょうか？配信という一方向の情報提供ツールのメルマガを、少しでも読者の皆様からの反応を見てみたい、そして読者の皆様との双方向のやり取りは出来ないかと始めたのが『YEGシロウト川柳』でした。まずは、全四回（十一月〜二月）の最優秀作品のご紹介をさせていただきます。

孫できて	ますます頑張る	青年部	長崎県 / 佐世保 YEG / 辻 博 様
いつまでも	年齢忘れて	YEG	愛知県 / 津島 YEG / 我流 服部 様
次年度へ	渡すタスキに	力水	埼玉県 / 岩槻 YEG / 油屋 様
念願の	卒業延びて	苦笑い	大阪府 / 吹田 YEG / 太陽太郎 様



とかく川柳というと、五・七・五の俳句調の様式からか堅苦しく考えがちですが、毎回優秀作品がメディアに取り上げられるサラリーマン川柳や時事川柳などを覗き見ますと、その時々世相や作者の心情、実体験が垣間見られ面白い反面、何気なくそして見逃しがちな出来事が、少々皮肉が織り交ぜられたり、正直な感想が込められていたり、実に見事に表現されている事に気づき感心させられます。

『YEGシロウト川柳』にも、作者の所属する単会の事情やYEGに対する熱い思いやジレンマが込められていて、皆様にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。ただ、優秀作品の選定をお願いした方々の年齢が高かったせいか、年齢に関する作品に共感や関心を抱かれたようで、四つの最優秀作品中、三作品が年齢に関する作品が選ばれる傾向にあったようでした。ここで恥ずかしながら私から感想の川柳をひとつ！

高年齢化 他人事でない 青年部 YEG あなたはどっち 使命余生？ 私たちが、仕事をする上で、またまちづくりを進めて行く上で、ともしれば見逃してしまいう出来事に案外大きなヒントが隠れている事があります。川柳は、そんな気づきや柔軟な発想のトレーニング、そして歳を重ねることに衰えがちになる脳の活性化には効果があるようです。皆様もこれを機会に『川柳』で脳のトレーニングをしてみませんか。平成十七年度も九月ごろより、川柳の募集を行なう計画をされているようですので、その際はたくさん応募をお願い致しますとともに、四ヶ月間の募集と短い間でしたが、皆様のご協力に感謝申し上げます。 全国の友が財産 商青連 皆さんの情報が命 広報委員会 (見事な字余り) ありがとございました。(担当鈴木)

思えばいいYEG会員になってほしい

「かっこいいYEG会員になってほしい!!」

「会合や、委員会、事業に参加するたびに首を傾げなくなる会員の愚行。私にとっての謎は、先導者たる気概で研鑽につとめ、国際人としての教養を高め、国の礎となる、という人だけが集まっている会なのになぜ?? という部分です。こんな人たちと同じ会員であることに恥ずかしささえも感じる。こんなのでいいの……」これは見逃さないですね。ではどんな行動が気になるのでしょうか。列挙しますと、……。

- × 乾杯前に料理を食べ始める **まるでつけのできていない子供**
- × 来賓の話の聞かない **挙句に聞くに堪えないなどと開き直す**
- × 終演までに、人がいなくなる **次の予定が気になって仕方がない**
- × 会場の飲物を持ち帰る **どこに持って行くのか損したくないのか**
- × マナーが悪いのを役員が指摘しない **なあなあの間柄すぎてけじめがつかない**
- × 全国大会の登録などの出欠の返事ができない
- × 返答期限が守れない **遅延の連絡ぐらいしてもいいのでは**
- × 分科会などの講演会をさぼる **講師にもものすごく失礼なので、出ると返事したら、出れば良いのではないかと思います**
- × 過剰接待紛いの準備をする **飲食店情報以上のご案内が親切だとは思いません**
- × 全国大会などのPR活動も行き過ぎではないかと思ひます。 **内輪の会で、ここまでしないと参加者が確保できないのでしょうか。**
- × 単会会長あてのアンケートくらい、催促無しに返事できないの。

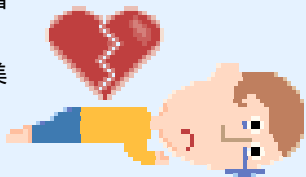
まあいろいろと書きましたが、あなたの単会でももっとひどいマナー違反があるんじゃないですか？

「たくさん集まると増長するんでしょうか。内輪の会なのに、協力しない姿も寂しく感じますよね。個々は良い方ばかりです。組織が立派で役員も一生懸命なだけに、基本的な部分がダメだと残念だなぁ・・とっています。

むしろ、普段はダメでも、「YEGの事はキチンとしない」と恥ずかしい」会になればカッコいい会員が増えるのではないかと思います。」

「仁」・「義」・「礼」・「智」・「信」を重んじる美しい日本の美しい人であってほしい。

そんな会員の素朴な感性を皆さんはどう感じられますか？



編 / 集 / 後 / 悔

「美しい日本の創造」考えれば考える程難しい言葉です。私には「見易い翔生の製作」が精一杯でした。平成16年度商青連広報委員会では良い仲間にも恵まれ楽しく広報の仕事もさせていただきました。小園会長は、商青連は単会あつての商青連で単会の皆さんにいかにか気持ちを伝えられるかを考えている。とされています。翔生にそのお手伝いが出来たかはわかりません。また、来年度も翔生を継続するそうですので、更なる発展を期待します。末筆になります。紙面を借りまして、一年間のご愛読に感謝いたします。(神谷)